

ゆん・なんニュースレター

第49号 令和3年 12月10日

毎年暮れの決まり文句、早いものですね。もう今年も今月でおしまい。来月から2022年(令和4年)になります。コロナで明け暮れた感がしますが、(ホームの子たちもワクチン接種が進んでいます。中学生の子も接種日が決まりました。)し忘れた事、物がないかとあたりを見回しています。と言っても、手直しの工事(ゆんたく・なんくるとも毎年、色々な箇所が痛んでくるので交換、修繕をお願いしています。)は業者さんの段取りがあるので今年中にできるかはつきりしませんが。

去年、ゆんたくの庭の柿の木で2個の柿を収穫したのですが、今年はなんと11個も実をつけました。スーパーに出ているものより小ぶりで甘味は少ないですが、十分柿の味はしています。来年はもっと多く、もっと甘くなってくれるかなと、楽しみにしています。(手入れ次第ですかね。)

前回の続き。リンダ・グラットン「マルチステージの人生」

マルチステージの人生では、生涯学習、健康的な高齢化、良好な人間関係など無形の資産が重要であると思います。無形の資産に関しては大変重要なものが3つあります。一つは健康、もう一つは学習や知識です。そして三つ目は社会との関わりです。お金という有形資産に集中してしまうということです。(一日の全ての時間をお金を稼ぐことや働くことに捧げていると)他の資産が枯渇してしまうということです。時間をかけて枯渇したものは再構築が難しくなります。

どの国も今、高齢化が進んでいます。日本は人口動態の変化を最初に経験した国の一つであるだけで、人々は長生きし、子どもが少なくなっています。それは、人口の平均年齢が高くなっていることを意味します。表面上は高齢者が多いから悪いことのように見えるかもしれませんが、でも、それをどう見るべきかという「長生きできるってすばらしい」と私は思っています。ただ長寿を素晴らしいものにするには、健康で生産的でなければなりません。まず第一に70歳代まで働くことを推奨します。今、実際にはかなり多くの人が70歳代まで働きたいと思っていることがわかっています。でも企業は年齢差別的といえますか、50歳を過ぎた人を雇用したくないという固定観念があります。企業に対して50歳を過ぎた人を積極的に雇用して欲しい、それと性差別とおなじように法律によって年齢差別を禁止すべきです。もう一回続きます。……次号へ

ゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょ)

それぞれの文化祭も終わり、期末テスト中の子やテストは済んで懇談が始まる子など紅葉のシーズンを迎えて先生も走る季節(師走)になりました。気ぜわしいですね。このところ、急に寒くなったので体調を崩してしまったAちゃんは、予約していたコロナのワクチン接種が1週間延期になってしまい、今年中に2回接種ができるか懸念しています。先月、1回目の接種をしたBちゃんは、腕の痛みも訴えず、発熱もありませんでした。これから受ける2回目はどうか分かりませんが、1回目が楽勝だったので2回目の緊張感がないようで淡々としています。Aちゃんの接種でゆんたくの子供たちは全員のワクチン接種が終了になります。京都市では発症者0が昨日と今日。このまま・・・と思っていいたらオミクロン株という新種が…コロナに負けるな!! ガールズ!!

なんくるはなんくるないさ〜

(なんとかなるよ!)

なんくるも慌ただしい日々を過ごしています。Aちゃんは高卒認定試験を受けました。バイトもたくさん入っている中、よく勉強していたのが印象的です。早朝から自分で起きてバイトに向かうことはなかなか誰でも出来ることではないのに、長く続けていて…素晴らしいですね。Bちゃんは文化祭で動画を作成することになったようで、「今日はオールで編集しないと!」とこちらもとても頑張っていました。今のところ体調を崩した人は0!素晴らしい!急に寒くなったので暖かい格好をしてほしいですが…さすが若い(笑)平気そうです(;’∇’)その調子で12月も元気に過ごしましょうね〜♪



らいげつ あんない
来月のキッチンゆんたくのご案内

2022年

1月20日 (第3木曜日) 開催

よてい
予定メニュー

- ・カレー
- ・サラダ (シーザーかグリーンか)



12月のキッチンゆんたく

メニュー♪
・シチュー

・マカロニサラダ

夕方5:30~なくなり次第終了

森子ども…100円/大人…300円

会食で~す!!
なくなり次第終了です。
早めにきてね。

※今回は、生理用品の寄付があります。

Thanks

きんりん かいしや さま きんいっふう
近隣の会社K様より金一封をいただきました。

また、近隣のU様よりお米、M様よりつる首かぼちゃとレシピをいただきました。

フードバンク京都様より、お菓子・水・お米・味噌・だし・ふりかけを、

みなさま ほんとう
皆様、いつも本当にありがとうございます。



Thanks ♪



かみしげい えほんしょうかい
紙芝居・絵本紹介

『しろいうさぎとくろいうさぎ』

ガース・ウィリアムズ 文・絵
松岡享子 訳

Aちゃん、二冊目の紹介絵本です。小学生の頃、たまたま英語版(下に翻訳が書いてあった)と日本語版、両方の『しろいうさぎとくろいうさぎ』の絵本があったそうです。「日本のは可愛いだけやったんやけど、英語のは話が深くて、ロマンチックやった!何回も何回も比べて読んだ」「英語の方が好きやった♡」と話してくれました。絵本が生まれた国の言葉で読めて、感動したなんて、素晴らしいですね。今、英語の勉強に励んでいるAちゃん!自分の力で英語版の絵本を読んで、感動する日も近いかな!!

<あらすじ> (日本語版)

白いうさぎと黒いうさぎ、2匹の小さなうさぎが森の中で遊んでいました。ある時、2匹で遊んでいると、黒いうさぎが座り込んで、とても悲しそうな顔で考え込んでいます。白いうさぎが心配して尋ねると黒いうさぎはいいます。「ぼく、ねがいごとをしているんだよ」と答えるのでした。黒いうさぎの願っていたのは、白いうさぎといつまでも一緒にいたい、ということでした。2匹はたんぽぽの花をつんで耳にさし、森の動物たちに祝福されて結婚しました。

結婚の贈り物にも選ばれることも多い、優しくてピュアな可愛いうさぎの物語です。英語版のうさぎの物語は…?